



キク編



病害虫注意報 2021年10月号

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

アザミウマ類の発生に注意！

気温が下がると、アザミウマ類の発生が多くなります。また、各種病害虫（ハダニ類・チョウ目・アブラムシ・白さび病）の最適な温度・湿度環境にもなりますので、多発が懸念されます。**薬剤散布は発生前に予防的散布を行いましょう！**

今月のおすすめローテーション



地域の防除事例を基に作成しています(輪菊栽培)。

品種、栽培条件によっては薬害が発生する場合がありますためご注意ください。

さらに、展着剤・葉面散布剤等を加用する場合もご注意ください。

対象害虫によって使用倍率が異なる場合があります。ラベルの確認をしてから使用してください。

時期	対象病害虫	薬剤名	使用量・希釈倍数	使用時期	回数
定植時	白さび病	inochioキクツチャ粒剤	6~9kg/10a (作条土壌混和)	定植時	1回
生育初期	白さび病	予 ジマンダイセンフロアブル	500~800倍	-	8回
	アザミウマ類・アブラムシ類 ハダニ類	inochio セイレーンフロアブル	2,000倍	発生初期	3回
消灯時	白さび病	予・治 inochioオペラフラワー乳剤	2,000倍	発病初期	3回
	ハダニ類	ダニカット乳剤20	800倍	開花前	2回
発蕾時	白さび病・うどんこ病	予・治 アンビルフロアブル	1,000倍	発病初期	7回
	アザミウマ類・ハダニ類	アグリメック※	500倍	発生初期	5回
破蕾時	白さび病	予・治 カナメフロアブル	4,000~8,000倍	発病初期	3回
	アザミウマ類	ファインセーブフロアブル	2,000倍	発生初期	2回

※花き類・観葉植物登録

弱った株の回復に！

カテキンパワー

1,000倍 葉面散布

※ストレプトマイシン剤、キチン、キトサン類、カルシウム剤（ファイトカルを除く）、微量要素剤、鉄など金属を含む葉面散布肥料との混用は避ける。井戸水で、鉄などを多く含む水での使用も避ける。



肥料登録
生第91402号

葉焼け軽減に！

プロテックa

500~1,000倍
葉面散布



- ・カルシウムとパラフィンワックスのW効果
- ・植物表皮を保護強化

チョウ目で
お困りの方は

ブロフレアSC

- ★ 新規成分プロフラニド(IRAC : 30)
- ★ 速効的な殺虫効果と3週間の残効性
- ★ 抵抗性害虫にも有効！

オオタバコガ・ハスモンヨトウ
2,000~4,000倍
発生初期/3回以内

